



60年に一度、丙午の年に行われる松崎神社神幸祭は、五穀豊穡、漁業繁昌、無病息災、子孫長久を祈願する神事で、「出社祭」、「本祭」、「帰社祭」の3神事が厳かに執り行われました。松崎神社の神を出社祭で神輿に移し、匝瑳市の野手浜海岸まで移動した後、本祭を執り行いました。その後松崎神社に戻り、執り行った帰社祭により神を神社に還し、一連の神事は終わりました。

お囃子や神輿など、多くの参加者による活気あふれる練り歩きが松崎神社や野手浜海岸で繰り広げられました。

祭りのハイライトは、本祭の後に行われたお浜降り^{（ひらけり）}で、海の中に神輿を力強く担ぎ入れる様子や、勢いある練り回しが披露され、その迫力と熱気は観衆を大いに魅了しました。

地域の皆さんにより受け継がれる伝統は感動を与え、地域の絆を強く深める場となりました。会場では終始「わっしょい」や「いやさっさあ」といった威勢の良い掛け声が響き渡り、お囃子の音色がさらに祭りを盛り上げていました。

60年に一度

令和8年

神幸祭

松崎神社